

危険物取扱者 [乙種・性消(第6類危険物)・正誤(5)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第6類の危険物には水と激しく反応するものがある。【 】
- (2) 第6類の危険物を貯蔵しているタンクのふたの滑りが悪いときは注油する。【 】
- (3) 過塩素酸は二硫化炭素と接触すると発火または爆発の危険性がある。【 】
- (4) 過塩素酸は分解を抑制するために脱水剤を添加して保存する。【 】
- (5) 過塩素酸は加熱すると水素を発生する。【 】
- (6) 過酸化水素は還元剤として作用する反応もある。【 】
- (7) 過酸化水素は熱や日光によって分解し、酸素を発生する。【 】
- (8) 過酸化水素の比重は1より大きい。【 】
- (9) 硝酸を希釈する場合は、濃硝酸に水を滴下する。【 】
- (10) ハロゲン間化合物は2種のハロゲン元素からなる化合物である。【 】
- (11) ハロゲン間化合物は一般にハロゲンの単体に似た性質を有する。【 】
- (12) 五フッ化臭素は暗褐色の発煙性の液体である。【 】
- (13) 五フッ化臭素は空気中で自然発火する。【 】
- (14) 五フッ化ヨウ素は強い刺激臭がある。【 】
- (15) 三フッ化臭素から発生した蒸気は吸入しないようにする。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第6類危険物)・正誤(5)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第6類の危険物には水と激しく反応するものがある。 【○】
ハロゲン間化合物は水と激しく反応する。
- (2) 第6類の危険物を貯蔵しているタンクのふたの滑りが悪いときは注油する。 【×】
第6類の危険物は酸化性のため、可燃物や有機物との接触を避ける。
- (3) 過塩素酸は二硫化炭素と接触すると発火または爆発の危険性がある。 【○】
発火または爆発の危険性がある。
- (4) 過塩素酸は分解を抑制するために脱水剤を添加して保存する。 【×】
爆発しやすい無水過塩素酸が生成されるため、脱水剤との混合は避ける。
- (5) 過塩素酸は加熱すると水素を発生する。 【×】
加熱すると分解して塩化水素や塩素を発生する。
- (6) 過酸化水素は還元剤として作用する反応もある。 【○】
強い酸化剤に対しては還元剤として作用する。
- (7) 過酸化水素は熱や日光によって分解し、酸素を発生する。 【○】
熱や日光によって分解して酸素を発生する。
- (8) 過酸化水素の比重は1より大きい。 【○】
比重は1より大きい。
- (9) 硝酸を希釈する場合は、濃硝酸に水を滴下する。 【×】
水に濃硝酸を滴下する。
- (10) ハロゲン間化合物は2種のハロゲン元素からなる化合物である。 【○】
2種のハロゲン元素からなる化合物である。
- (11) ハロゲン間化合物は一般にハロゲンの単体に似た性質を有する。 【○】
一般にハロゲンの単体に似た性質をもつ。
- (12) 五フッ化臭素は暗褐色の発煙性の液体である。 【×】
無色から淡黄色の発煙性の液体である。
- (13) 五フッ化臭素は空気中で自然発火する。 【×】
自然発火することはない。
- (14) 五フッ化ヨウ素は強い刺激臭がある。 【○】
強い刺激臭がある。
- (15) 三フッ化臭素から発生した蒸気は吸入しないようにする。 【○】
蒸気は吸入しないようにする。